



生協連会報



2023

1

<新年のご挨拶>

千葉県生活協同組合連合会 会長理事 首藤英里子 1

<活動報告>

貧困学習会

「貧困に負けない。支え合う社会～反貧困ネットワークの活動から～」 2

第27回千葉県協同組合女性交流会開催報告 4

第4回地域・まちづくり委員会開催報告 5

<ウクライナからの避難者支援プロジェクト>

第5回「お茶しませんか」開催報告 7

No.513



新年のご挨拶



千葉県生活協同組合連合会
会長理事 首藤 英里子

新年あけましておめでとうございます。旧年中は会員生協の皆様には、千葉県生協連の活動に対して、ひとかたならぬご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

コロナ禍による国際的な供給網の混乱や、ロシアによるウクライナ軍事侵攻の長期化などにより、記録的な円安と物価高が進行しています。特に生活必需品の価格が上昇しており、弱い立場の人々への影響は大きく、貧困問題や格差社会など、これまでもあった社会問題はさらに複雑化、深刻化しています。そのような中、千葉県生協連では、様々な団体と連携し、地域課題解決に向けた取り組みをすすめてきました。この間、継続しておこなっているフードドライブの取り組みや様々な団体と連携して、ウクライナから避難されてきている方同士の交流の場を定期的に開催してまいりました。

組合員のくらしやライフスタイルに大きな変化が起きている中、様々な団体と連携して、生協の事業と活動を通して、貧困の問題や格差社会、環境問題、など様々な地域課題に向けて、安心してくらし続けられる地域社会をつくっていくことは、私たち生活協同組合の大切な使命だと考えます。

誰一人取り残さない持続可能な社会を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」は、多くの部分で生協の理念と重なります。生協の様々な課題に取り組むことがSDGsの目標達成に寄与することになると考えます。千葉県生活協同組合連合会は会員生協の皆さまをはじめ、各協同組合、地域で活躍する団体とともに、私たちの理念と重なるSDGs目標達成のために、安心してくらし続けられる地域社会をめざして一層の努力を重ねていく所存です。

最後に、本年が会員生協の皆様の益々のご発展の年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

「貧困に負けない。支え合う社会～反貧困ネットワークの活動から～」

日 時 2022年11月7日(月) 13時30分～16時
 開催方法 ネット配信(当日 Zoom 参加：後日 YouTube 配信)
 参加者 Zoom 参加 21人(講師、事務局含む)
 YouTube 配信 20視聴(12月19日現在)
 講 師 一般社団法人 反貧困ネットワーク事務局長 瀬戸大作さん



新型コロナウイルス感染症の以前からくらしが厳しい弱い立場の人たちが、一層困窮する事態となっています。今回は「新型コロナウイルス緊急アクション」に取り組む(一社)反貧困ネットワークの事務局長 瀬戸大作さん(パルシステム連合会所属)を講師にお招きし、くらしの中にある貧困の現況、また多様な団体との支え合いによる支援活動の様子などをお聞きしました。今私たちに何ができるのか、地域の中でどのように支え合うことができるかなど、参加者と考えました。

1. 講演の概要(文責：事務局)

◆新型コロナウイルス禍の今の状況は、リーマンショック後の状況から変化しています。

相談者から、仕事を失い自宅も失くし、所持金1円しかない…といったメールがあると駆け付けます。メールは土日も24時間フルオープンです。千葉県内の駆けつけ支援は千葉市、柏市が多いです。

公的な相談支援機関は、すぐに金銭的な支援をおこなってくれません。そこで市民からのカンパ約1億7000万円で「緊急ささえあい基金」を設立し、相談者に宿泊費や生活費、交通費などを支援しています。

コロナ禍の今年度の状況を見ても、かけつけ支援をした人の数は減っていません。相談者のうち、所持金がない人が約20%、家がない(野宿・ネットカフェ)人が約70%、また10代・20代の人からの相談が約30%強と若い人達が増えています。また女性の比率も約40%と増加しました。

◆国民総貧困社会に突き進んでいるように思います。

現在の貧困問題の状況は、コロナ禍前の状況よりかなり悪い状態、深刻化しています。調査では、「貯蓄0」の人が20代では約60%、30代では約40%です。ずっと非正規のままだった人の状況がコロナ禍により可視化された、ということだと思います。相談者はこれからの人生に、全く希望を持っていません。皆さん、「やり直しなんかできない。僕の貧困は終わることはないだろう」と思っているように感じます。

相談者の多くは非正規・派遣で寮に住み込んでいたが雇止めで住まいを失った人、また精神的困難を抱えた人の割合が相談者の約80%になっています。福祉事務所に生活保護費を給付してもらえないかと相談しても、追い返されるか施設に行くように勧められるため、その後行政に相談に行かず最後にどうしようもなくなって相談に来ています。お金がなくて行政窓口で相談しているのにそのまま放置する場合もあり、問題だと思います。



◆生協の組合員さんにも、厳しい状況におかれている人がいるかもしれません。

東京都は今年度、検針員による訪問での検針業務を停止したため、給水停止が昨年の2倍になっています。これは、危険なことだと思います。これまでは担当者が水道料金滞納者を訪問し、状況を確認して支援につなげていました。



この冬は、ライフライン（ガス・電気・水道）が止まることで餓死者が出るのではと心配です。

皆さんも考えてみてください。例えば、「利用代金が払えず供給をストップしているが、僕らが機械的に供給を止め未利用代金を回収していないか」、「脱退理由で『買うものがない』と書いているがその裏側を読み取れているか」、振り返った時に「自分の生協はどうなのか…」ということ、僕は考えてしまいます。

◆行政の現場職員も非正規。非正規の人が非正規の相談に対応しているような状態です。

今、ネットカフェに暮らす人が増えています。貯蓄がなく初期投資ができないので、アパートが借りられません。東京都で2017年に約4000人いましたが、現在は倍増していると思います。住居政策の貧困に対する政策的な脆弱性の表れです。今、兵庫県尼崎市では自力で住宅を借りにくい人に、コープこうべが築50年前後の市営住宅を借り上げ、支援団体と連携して安価に貸し出す事業を始めています。この例のように、生協には食料支援だけでなく住居問題にも踏み込んでもらいたいと思います。

◆在留資格のない外国人や福島第1原発事故の避難者への支援もおこなっています。

僕らの方針は、どこの国の人でも、地域で生きている人を貧困状態に置かないことです。入管から仮放免された人からも、多数の相談があります。彼らは働いてはいけないので食えることができない、家もない、医療にもかかれません。地域の中でともに生きる関係をつくるため、仮放免された人達と一緒にフェスティバルを開催し、カンパを得る機会を作っています。また、福島第1原発事故からの避難者の住まいの権利問題でも、国家公務員宿舎の退去を迫られている避難者を支援しています。



◆ロッチデールの原則に立ち返りましょう！

今、女性が大変です。貧困全体での比率は30%だけですが、困難さは男性より数倍高いです。また施設に入ると携帯電話を取り上げられるので、行政の支援に応じません。協同組合として住まいの支援、就労支援を考えてほしいと思います。

「自助の保管装置」にならず「ともに働く場、ともに生きる場」を協同組合の中につくること、協同組合がネットワークのハブになり地域団体のつなぎ役になっていくことが大切だと考えます。

○参加者の感想

- ・若い世代の、特に女性の困窮者が増回していることを知り、生協の組合員や自分の身近な問題だと、とても強く感じました。
- ・所持金がほとんど無くても生活保護がすぐに受けられない現状に驚いた。生協の組合員でも貧困に陥った人がいるのかも知れない。
- ・各生協、もっと大きく県連などで取り組めることもあるので、考えて動いていきたい。

第27回千葉県協同組合女性交流会 開催報告



日 時 2022年12月14日(水) 10時30分～12時30分
会 場 千葉県農業会館 6階大ホール
参加者 生協連10人・JA千葉女性部協議会13人 計23人
(事務局含む)
主 催 千葉県生協連、千葉県漁協女性部連絡協議会、
JA千葉女性部協議会、千葉県協同組合提携推進協議会

第27回千葉県協同組合女性交流会を開催し、千葉県生協連から地域生協の組合員理事と事務局が参加しました。

この女性交流会は、農林水産業及び、生産現場での体験や暮らしに共通する課題の話し合い等の交流を通じて、生産者と消費者が相互に交流することを目的として、毎年開催するものです。昨年は新型コロナウイルス感染拡大で延期



久しぶりに、おしゃべりしながらの楽しい時間になりました。

になり、ようやく今年、第27回を開催することができました。持ち回り開催のため、今回はJA千葉中央会が事務局として企画・運営を担当されました。なお、千葉県漁協の皆さんが都合により欠席されたため、生協連とJA千葉との交流となりました。

今年は「防災」をテーマに、万が一の備えにほどいて使える「バスタオルの防災頭巾」を手作りしながら

ら、グループで交流しました。この防災頭巾は、東日本大震災での避難経験からJA新ふくしま女性部協議会の皆さんがアイデアを出し合って考案されたもので、JA千葉女性部協議会の方が講師となって教えてくださいました。作り方は、畳んだバスタオルの間にフェイスタオルと手ぬぐいで最低限必要な身の回りの物をくるんだものを挟んでしつけ糸で縫い付け、頭巾の形に整える…というもので、慣れれば家庭にある材料で手軽に作れます。中に入れた肌着や紙おむつ、手袋や風呂敷などがクッションの代わりになり、付け心地もなかなか良い感じでした。

参加された皆さんも防災や食など様々な話題が広がり、久しぶり

の対面での手仕事をしながらのおしゃべりに話が弾みました。

参加者からは「念願の防災頭巾作りを教えていただけて嬉しかった。実際の災害状況を想像しながら、家庭にあるもので作れるので、防災の意識も高まって良いと思いました。」といった感想がありました。



参加者で記念写真！
皆さん、かわいらしくなりました。



バスタオルとフェイスタオル、腰ひもと、災害時に役立つような材料から防災頭巾を作りました。



風呂敷2枚で作ったリュックサック。結わえただけで簡単にできました。

第4回地域・まちづくり委員会委員会報告



日 時：2022年12月19日（月）13：30～15：20

開催方法：Zoomを活用したWeb会議

出席：佐藤・丸岡（パルシステム千葉）、本間（コープみらい）、
田端・柴山（生活クラブ）、山田（なのはな）高橋（ちば住宅コープ）
上山・佐久間・竹内（生協連）
オブザーバー 蔦・小林・堀越（日本生協連） 敬称略

内 容

1. 学習会

はじめに、千葉県生協連の上山専務より、「地域・まちづくり委員会は、安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域で活動する諸団体の活動から地域課題を共有し、地域連携への道筋を模索することを目的に開催しています。第4回では、『NPO 法人ハイティーンズサポートちば』の理事長 吉永馨さんより『校内居場所カフェの役割と、高校生支援について』についてお話をしていただきます。」と、挨拶がありました。

本日の講師の吉永さんは、障害者教育や、定時制高校の担任など40年以上の長きにわたり様々な教育現場に携われ、2020年6月に高校の教職員が中心となって、「ハイティーンズサポートちば」を立ち上げました。

その「NPO 法人ハイティーンズサポートちば」の活動について以下のようなご説明をいただきました。

- 1.若者支援活動を通して福祉と教育をつなぐ
- 2.若者支援にあたる地域のネットワークをつくる
- 3.高校に“校内居場所カフェ”を開設し運営の中心を担う
- 4.千葉県、千葉市と連携し、県・市の貧困対策事業に参画する

という4つのミッションを遂行することを目的としています。

教育と福祉の連携は、「ハイティーンズサポートちば」が校内居場所カフェの運営をすることで、生徒との信頼関係を築き、福祉につなげることができると考えています。また活動するためには子ども食堂、フードバンク、生協、一般企業、地域の理解・協力などの連携が必要となります。

校内居場所カフェ事業では、高校生や高校中退者などの10代の若者への食糧支援、相談事業、就労支援などをおこないます。この年代の若者は自分や家庭の問題などを一人で抱え「SOS」を出しにくい状況が多くあります。さらに高校を中退してしまうと社会との関わりがなくなり支援から取り残されてしまいます。

「校内居場所カフェ」はカフェに来る若者と信頼関係を築き、支援に繋げていくことができます。現在「ハイティーンズサポートちば」が関わった校内居場所カ



代表の吉永さん

フェでは、食糧の配布を中心に、大学生や地域住民などの協力のもとに運営されています。七夕など季節の行事に合わせた企画などもおこない、親しみやすく入りやすい環境づくりを意識しています。

3年が経ち事業の必要性が認められ、千葉県からは県内の5高校への「校内居場所カフェ」支援ができました。また、県内の高校から直接校内居場所カフェを作りたいという問い合わせも来るようになりました。しかしながら、課題もあります。支援ができる高校は数校にとどまっています。団体の認知度も低く、活動資金の確保も課題があります。今後は、食糧支援のできる高校を増やしたり、相談業務などの充実、また就労支援なども行政や関係団体と連携しながら行ってきたいと考えています などと話されました。

参加者からは、「高校の中に入って高校生のために居場所を作る活動は、知らなかった」「10代後半は、大人でもありまた誰かに頼りたいという不安定な時期でもあるため、いろいろな人が見守り、支えていくことはとても大事な活動だと思います。」「お話にもあったように活動資金がどうなっているのか気になります」などの感想がありました。

2. 生協からの活動報告

○コープみらい 継続して行っている自治体訪問は34自治体の首長と、地域ニーズとともに取り組めることを話しあうため、現在日程を調整しています。暮らしと地域作り助成に14団体217万円の助成をおこないました。県内4大学と寄附講座を開講し、関連団体や行政などにも協力をいただきました。また生活困窮者へのお米の支援を継続しています。

○生活クラブ 月に一度のデポー木刈りで行う地域住民主体の「街の縁側～誰でも食堂」への参加者が増えてきました。「生活クラブ虹と風のファーム」では援農のコミュニティができました。助成金の支援団体の活動状況などの聞き取りなどの訪問活動をおこなっています。聞き取った情報は順次公開し、組合員が地域の活動を知る機会となっています。12/3にオンラインイベントを開催しました。

○パルシステム千葉 フードドライブでは2.4tの寄贈があり組合員と一緒に賞味期限ごとに仕分けをおこないました。コープ共済「地域/支えあい助成」の取り組みでは11/13に第2回のイベントを開催し、企画の周知につながりました。「まつどDEつながるステーション」の企画が「にじいろぱる六実」で開催され、初めて地域住民参加企画となりました。

3. 日生協からの報告

情報プラザに掲載している報告書についての紹介がありました。

4. 次回の開催について

開催日：2023年3月31日（金）10：00～



参加者のみなさん



ウクライナからの避難者支援プロジェクト 第5回「お茶しませんか」開催報告

16 平和と公正を
すべての人に



千葉県生協連では県内の行政や諸団体とともに、ウクライナから避難されてきた方の支援「お茶しませんか」プロジェクトに参加しています。このプロジェクトは月に1回、ウクライナの方たちが気軽に集まり母国語でおしゃべりを楽しめる茶話会（名称「お茶しませんか」）です。避難されて来た方同士が知り合い、情報交換ができ、子供たちが走り回り、ひと時の笑顔が広がる場所です。

第5回が12月17日(土)に三井ガーデンホテル千葉で開催され、ウクライナの方・同行者の方が総勢33名参加されました。当日はパルシステム千葉から講師をお招きしてクリスマスリースづくりをおこないました。また、前回に続き、ビンゴ大会をおこない、会場が盛り上がりました。今回はビンゴで外れた方にも全員にクリスマスプレゼントを差し上げました。



開会のあいさつ



クリスマスリースづくりの様子



ビンゴの様子



ビンゴで景品が当たりました！



きれいなリースができました！



クリスマスリースづくりの様子

千葉県生協連の主な活動予定 2023.1～2023.3

1月			2月			3月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	日		1	水	MCA無線通信訓練/フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会	1	水	
2	月		2	木		2	木	サポちば理事会
3	火		3	金	ウクライナ支援「お茶しませんか」第8回幹事会	3	金	食料・農業・環境を考えるフォーラム
4	水		4	土		4	土	
5	木	サポちば理事会	5	日		5	日	
6	金	MCA無線通信訓練/ウクライナ支援「お茶しませんか」第7回幹事会	6	月		6	月	
7	土		7	火	第47回消費者大会/第4回地域生協部会	7	火	消団連代表幹事会/MCA無線通信訓練
8	日		8	水		8	水	職域生協部会
9	月		9	木		9	木	
10	火		10	金		10	金	
11	水	全国方針検討会議	11	土		11	土	
12	木	全国方針検討会議	12	日		12	日	
13	金		13	月	第3回福祉・たすけあい事業部会	13	月	女性交流会実行委員会
14	土	大学生協と地域生協の交流会	14	火		14	火	
15	日	ちば平和のつどい	15	水		15	水	消費者行政審議会
16	月		16	木	第6回食・消費者委員会	16	木	
17	火		17	金		17	金	
18	水		18	土		18	土	
19	木		19	日		19	日	
20	金		20	月		20	月	
21	土		21	火		21	火	
22	日		22	水		22	水	
23	月		23	木		23	木	第5回理事会
24	火		24	金	CO・OP火災共済等に関する研修交流会	24	金	
25	水		25	土		25	土	
26	木	第4回理事会	26	日		26	日	ウクライナ支援第8回バス旅行「お茶しませんか」
27	金		27	月		27	月	
28	土		28	火		28	火	
29	日	ウクライナ支援第6回茶話会「お茶しませんか」				29	水	
30	月					30	木	
31	火					31	金	第5回地域・まちづくり委員会

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス https://mirai.coopnet.or.jp/
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス https://www.palsystem-chiba.coop/
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス https://chiba.seikatsuclub.coop/
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス https://nanohana-coop.net/
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス http://www.chibakenseikyo.or.jp/
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス http://www.univcoop.jp/chiba-u/
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス https://www.univcoop.jp/toho/
千葉商科大学生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス http://www.univcoop.jp/cuc/
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス https://www.jcgsk.com/
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス http://www.cjcoop.or.jp/
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 HP アドレス http://www.zenrosai.coop/
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス http://www.tohto-coop.or.jp/
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス https://www.coop-joso.jp/

千葉県生活協同組合連合会組織概要

創 立 1949 年

会長理事 首藤 英里子

会 員 12 生協

準 会 員 2 生協

所 在 地 千葉市中央区中央 4-13-10

千葉県教育会館 5 階

第47回 千葉県消費者大会



わたしたちの食卓事情

～パンデミックやウクライナ侵攻から見たこと～

今、世界情勢（コロナ禍、ウクライナ侵攻、気候変動による大規模災害など）の影響で食品の価格が高騰し、暮らしを直撃しています。

今回の消費者大会では、元NHK解説委員室 解説副委員長の合瀬宏毅さんを講師に迎え、世界の中での日本の食を考え、暮らしを守るための食料確保や食品の価格などについて、消費者の視点で考えます。

日 程： 2023年2月7日（火）

開場 13:40 14:00～16:00

場 所： 千葉市文化センター9階 会議室II・III・IV

参加費： 無 料（託児はありません）

講 師： 合瀬 宏毅さん

一般社団法人 アグリフューチャー・ジャパン

代表理事理事長・校長理事（元NHK解説委員）



※今回は会場開催です。講師は別会場から、オンラインによる講演（双方向）となります。

※申し込み：どなたでも参加できます！

QRコード、もしくはFAXで①お名前と②電話番号をご連絡ください。締切：1/31

※連絡・お問い合わせ先：消費者団体千葉県連絡会事務局（千葉県生協連内）

TEL 043-224-7753 FAX 043-225-3459



主 催：消費者団体千葉県連絡会

後 援： 千葉県

千葉市





 **千葉県生活協同組合連合会**

千葉市中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)
tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459
<http://chiba-kenren.jp/>